

会 議 録

1 会議名

令和5年度第7回安塚区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

（1）リバーサイドロードの整備と管理の促進に係る意見書に対する回答について

○協議事項（公開）

（1）安塚区地域協議会委員研修会について

○その他（公開）

3 開催日時

令和5年10月25日（水）午後6時30分から午後8時00分まで

4 開催場所

安塚区総合事務所 3階 301会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：池田裕夫、池田康雄、石田ひとみ、小松光代、新保良一、中村真二、
外立正剛、秦克博、松苗正二、松野修、山岸重正、吉野誠一

・事務局：安塚区総合事務所 小林所長、山崎次長、小林市民生活・福祉グループ長（併
教育・文化グループ長）、村松班長、萬羽主任

8 発言の内容（要旨）

【松苗正二会長】

・会議の開会を宣言

・上越市域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

本日の会議録の確認は、内規により私の方で対応する。

それでは、次第2報告事項（1）リバーサイドロードの整備と管理の促進に係る意見書に対する回答について、から議事を進めていく。

事務局に説明を求める。

【萬羽主任】

資料No. 1に基づき、リバーサイドロードの整備と管理の促進に係る意見書に対する回答の内容を説明。

【松苗正二会長】

事務局から説明があったが、質問のある方はいるか。

【吉野誠一委員】

前回の地域協議会終了後、「不陸」という言葉の意味を広辞苑で調べたところ、載っていなかった。道路関係者の専門用語ではないかと考えているが、意味を教えてください。

【萬羽主任】

「不陸」とは、路面が水平ではなく、凸凹がある状態を指す言葉である。

【吉野誠一委員】

承知した。

もう1点お願いしたい。地域協議会が提出した意見書では、実現に向けた検討をお願いしたい事項として、危険箇所の改善等6項目を挙げていた。安塚中学校付近ガードレール等の修繕を降雪期前に実施するという説明があったが、可能であれば、口頭の説明ではなく、回答書の中に記載してもらえるとよかったと思う。次回は、そのような回答方法を検討してもらいたい。

また、降雪期前に修繕を実施できるのであれば、地域協議会からの意見書を受けて実施するのではなく、道路管理者として通常の管理を適切に行うよう心掛けていただきたい。

【松苗正二会長】

今後はそのように対応をお願いしたい。ほかに意見等あるか。

【池田康雄委員】

枝折れの回収や草刈りについては、現在も実施してもらっているが、可能であれば、桜が咲く前に実施してほしい。

今日、リバーサイドロードを通ったところ、歩道を散歩している人など3人の方とすれ違った。歩道のインターロッキングは、経年劣化で色褪せており、清掃も大変なため、このままでよいのだろうかと感じた。アスファルトにした方が管理も楽になるのではないかと思う。

また、現在、河川側に垂れている枝は、処理していないように見受けられるので、今

後はそちらもあわせて対応をお願いしたい。

【萬羽主任】

枝折れの回収と草刈りの実施時期についてであるが、年度によって積雪の状況等も異なるため、桜が咲く前にそれらの作業を必ず完了するというふうに申し上げることは難しい。ご意見として担当課に伝えさせていただく。

また、リバーサイドロードは市道であることから、基本的に道路の通行上支障となる箇所について、枝折れの回収や処理を実施している。河川側に垂れている枝については、状況によって、道路の通行上支障となる恐れがある場合には、同様の対応を実施している。

【山岸重正委員】

インターロッキングについて、経年劣化で色褪せているという意見があったが、年数の経過とともに味が出てきているというふうに見ることもできると思う。

また、枝折れについて、景観を大きく損ねるものは当然対応する必要があると思うが、多少折れているという程度であれば、桜自体は咲くので、そこまで過敏にならなくてもよいと思っている。

色々な考え方があると思うが、私自身はそのように考えている。

【松苗正二会長】

枝折れ等危険な状況を発見した場合は、総合事務所へ連絡してほしいという説明があったので、委員の皆さんもそのようにご理解いただきたい。

また、インターロッキングには透水性があり、雨が降ってもアスファルトのように水たまりができないため、歩きやすくよいという面もあると思う。一方でアスファルトの方が管理しやすい面もあるが。

【吉野誠一委員】

どのように委託業務が運用されているのか分からないが、草刈りと枝折れの回収を一緒にしようとする、桜の時期が終わってからの作業になってしまうと思う。予算の制約もあると思うが、春先に枝折れの回収を先行して実施するのは難しいか。

【村松班長】

現在も草刈りと枝折れの回収は別々に実施している。

【松苗正二会長】

作業の実施に当たり、事前に現地確認は行っているか。

【小林所長】

現地確認を行っている。

【中村真二委員】

降雪期前にいくつか修繕を実施するという説明があったが、修繕の完了後、地域協議会だより等を活用して地域住民の皆さんにお知らせした方がよいのではないかと。

【松苗正二会長】

そのような方向で検討していきたいと思う。

【山岸重正委員】

管理を全て市に任せるという考えではいけないと思う。地域住民もできることをやる必要がある。

【吉野誠一委員】

以前は、NPO雪のふるさと安塚が業務を受託し、管理を行っていたが、人手不足等によって受託が困難となり、現在は業者委託がなされている。

【松苗正二会長】

現在、草刈り等の管理を行っている集落と行っていない集落が混在しており、考え方の整理も今後必要になると思う。

今回、意見書に対する回答の説明があり、インターロッキングの不陸箇所や破損花壇等の修繕を今年度実施するという方針が示された。来年発行する予定の地域協議会だより等を活用し、意見書や回答の内容を地域住民の皆さんにお知らせすることとしてよろしいかと。

(「はい」の声多数)

【外立正剛委員】

山岸委員から発言があったが、市と地域住民の協働による管理の在り方について、仕組みづくりから検討していかなければならないと思う。

意見書を提出し、回答が来たからそれで終わりということではなく、そこから一步先に進んで考える必要がある。

【松苗正二会長】

今回の意見書の提出に当たっては、安塚町時代のリバーサイドロードの状態に復元してほしいという思いが最初であり、整備実施後、イベントの実施をはじめとする活用方法を地域住民の皆さんと一緒に検討していきたいという流れで考えを整理してきた。意見書に対して、市から前向きな内容の回答をもらえてよかったと感じている。

ほかに意見等あるか。

(意見なし)

現在の自主的審議事項「住みやすい安塚の在り方について」は、令和3年12月に審議を開始し、これまで審議を重ねてきた。

当区が抱える課題等について、アンケートや意見交換会で挙げられた意見を基に様々な観点から検討した結果、最終的に地域住民の皆さんが特に誇りや愛着を持っているリバーサイドロードの整備や管理に内容を絞り、地域の考えや思いを意見書にまとめた。

今回示された回答により、意見書の中で改善等を求めた事項について、今年度以降、緊急度の高いものから順次修繕を実施していくという市の方針を確認することができた。

また、よりよい維持管理の実現に向けて、市と地域住民が協議し、ともに環境整備に努めていきたいという市の考えも確認することができた。

以上の点を踏まえると、これまで審議を重ねてきた自主的審議事項の取組について、私としては、意見書とその回答をもって一定の道筋をつけることができたのではないかと考えているところである。

これまでの検討過程では、リバーサイドロード以外の内容についても広く議論してきた。地域の方々からいただいた様々なご意見については、大事な地域の想いとして、行政やNPO雪のふるさと安塚などに引き継ぎ、今後の地域づくりに役立てていただければと思っている。

以上のことから、現在の自主的審議事項「住みやすい安塚の在り方について」は、本日をもって、今期の地域協議会として一旦区切りをつけるということでよいかどうか、皆さんの意見を伺いたい。

【吉野誠一委員】

アンケートの実施に当たっては、今後の安塚区のビジョンを作成したいという思いがあったはずである。色々と検討を重ねた結果、最終的にアンケートの中で多く挙げられたリバーサイドロードの管理に内容を絞って意見書をまとめることになった。残された任期でビジョンを作成することは難しいと思うが、次期の地域協議会委員にしっかりと引き継ぐことも重要ではないか。

【松苗正二会長】

吉野委員からは、ビジョンを作成したいという意見を挙げてもらっていたが、全体で検討を重ねた結果、まずは現在目の前にある課題について検討していくべきであるというふうに方向性を固め、取組を進めてきた。アンケートや意見交換会をとおして、地域

住民の皆さんから貴重なご意見をいただいたので、それを次期の地域協議会委員に引き継ぐことは必要であると考えている。

【吉野誠一委員】

ビジョンの作成に向けてアンケートを実施したのではなかったか。

【松苗正二会長】

ビジョンを作成するためにアンケートを実施したわけではないと思う。

【吉野誠一委員】

承知した。私の認識が違っていたのかもしれない。

ただ、ビジョンの作成にぜひ活かしてもらいたいというふうに引き継いでもよいと思う。ビジョンという言葉を入れるのがそんなに嫌か。

【松苗正二会長】

嫌ということではなく、4年間という限られた任期の中で、10年後や20年後を見据えたビジョンを作成するのは難しいという意見が多数であったと思う。

【吉野誠一委員】

そのような意見があったことは記憶している。

【松苗正二会長】

ビジョンの作成に限定せず、アンケートや意見交換会をとおして把握した地域住民の皆さんの思いや考えを色々な場面で活かしてほしい、というふうに引き継ぐことは大切であると思う。

【吉野誠一委員】

承知した。

【松苗正二会長】

ほかに意見等あるか。

【中村真二委員】

残りの任期の中で私たちに何ができるかを考えてみたが、今期の地域協議会で取り組んできた内容や考えたアイデアについて、広く地域住民の皆さんに発信する機会を設けてもよいのではないかと思った。

【小林所長】

アンケートや意見交換会を通して把握した貴重なご意見については、事務局としても、次期の地域協議会委員の皆さんにしっかりと伝えていかなければならないと考えている。

また、中村委員から提案のあった、今期の地域協議会の取組の総括や成果の報告につ

いては、仮に報告会を開催するのであれば、どのような形で開催するのがよいか、追ってご検討いただきたい。

【池田裕夫委員】

今回、意見書に対する回答の説明があったが、次回以降の地域協議会で何を検討していったらよいのか、疑問に思った。現在の自主的審議事項について、本日をもって区切りをつけるという考え方もあると思うが。

【吉野誠一委員】

現在、地域が抱える課題や問題点について、地域協議会で検討した内容を意見書にまとめて提出している。市長は、意見書の内容を勘案し、必要と認めたときは、適切な措置を講じなければならない。意見書によって、市の対応を促しているのだから、これはこれでよいのではないかと。地域協議会にこれ以上のことはできないと思う。

【松苗正二会長】

先ほどの池田裕夫委員の発言は、内容が異なるのではないかと。

【池田裕夫委員】

回答の中で、「貴協議会をはじめとする地域の皆さんと一緒に環境整備に努めてまいりたいと考えている」との記載があり、地域協議会としても何か検討をしておいた方がよい事項があるのかと思い、発言した。

【吉野誠一委員】

その点について、いつ頃から、どのような協議をするということが回答書の中で何も記載されていないので、少し具体性に欠けていると感じた。

私としては、市がイニシアティブを持ちながら、地域協議会や地域へ呼びかけて、一緒に検討を進めていくという意味なのではないかと捉えた。地域協議会で先行して何か検討する必要はないと思う。

【新保良一委員】

今回の意見書を受けて、市からは、インターロッキングの不陸箇所や花壇破損箇所等の修繕を順次進めていくとともに、よりよい維持管理の実現に向けて地域との協議を進めていきたいとの回答が示された。整備や管理の実施後、今後の利活用に向けて、地域協議会の中で、イベントの実施をはじめとするアイデアの検討を進めなくてよいのか。

【松野修委員】

すぐに冬になってしまうので、次年度になってから検討してもよいのではないかと。

【吉野誠一委員】

意見書に添付した参考資料の中で、ウォーキング・ランニングコースとしての内容の充実等のアイデアを記載しており、今後市の方で実施を検討してもらえるのではないかと。

【松苗正二会長】

参考資料に記載した内容は、あくまでも地域協議会で検討中の利活用に向けたアイデアであり、アイデアの内容を市に実施してほしいという意味で添付したものではない。今後、関係団体と連携しながら、実施に向けた検討を進めていきたいので、その前に危険箇所の修繕等を実施してほしいという趣旨である。

【吉野誠一委員】

承知した。

【松野修委員】

アイデアの中には、市と地域が一体となって行う共助による環境整備といったものも含まれているので、次期の地域協議会にしっかりと引き継いで、検討を進めてもらえばよいと思う。

【新保良一委員】

次期の地域協議会に引き継ぐことももちろん大切であるが、今期の地域協議会の中でも検討すべきであると思った。

【松苗正二会長】

残りの任期内にまとめるところまで進めるのは難しいかもしれない。

【新保良一委員】

途中までになってしまうかもしれないが、検討自体はしてもよいのではないかと。

【松苗正二会長】

次期の地域協議会への引継ぎも含めて、今後の進め方については、改めて検討することとしたい。

【小林所長】

意見書に対する回答について、具体的な内容があまり記載されていないとのご意見を吉野委員からいただいた。今後の環境整備の在り方については、地域協議会の皆様だけではなく、NPO雪のふるさと安塚や地域住民全体の思いを受け止めながら、市も一体となって検討を進めていかなければならない。一つ一つ着実に進めていく必要があるため、次回以降の地域協議会ですぐに何か検討いただかなくてもよいと考えている。

【池田裕夫委員】

私が最初に申し上げたのはそういう意味ではなく、残りの任期をどのように務めていったらよいか、単純に疑問に思い、質問した。

【小林所長】

本日の会議の冒頭、松苗会長から、今回の自主的審議事項は、最終的にリバーサイドロードの管理に内容を絞って意見書を提出し、市の回答が示されたことで、一定の区切りがついたと考えている、とのご発言があった。今後の利活用等について、皆様の中で残りの任期内に検討を進めるのはなかなか難しいだろうというお考えであれば、アンケートや意見交換会の結果も含めて、次期の地域協議会に引き継ぎ、参考にさせていただければよいと考えている。次回以降の地域協議会については、自主的審議事項以外にも市からの報告事項等が予定されているので、ご承知おきいただきたい。

【松苗正二会長】

皆さんから様々な意見をいただいたところであるが、現在の自主的審議事項「住みやすい安塚の在り方について」は、本日をもって、一旦区切りをつけるということによろしいか。

（「はい」の声多数）

それでは、以上でリバーサイドロードの整備と管理の促進に係る意見書に対する回答についての報告を終了する。

次に次第3協議事項（1）安塚区地域協議会委員研修会についての協議に移る。

前回の地域協議会における協議の結果、今年度視察研修は実施しないことに決定したが、一部の委員から外部講師を招く形の研修会を実施してもよいのではないかという意見があった。

その後、改めて正副会長と事務局で打合せを行ったが、11月10日（金）に開催される「大・浦・安」地域協議会委員研修会において、外部講師による講演が予定されていることから、安塚区地域協議会としての研修会は実施しない方向でいかがかと考えている。次年度以降、地域協議会の中で様々な観点で議論等進めていく中で、必要と考えられる方を講師に招くことを随時検討することとしたい。

それでも、皆さんの方で、今年度ぜひこの方のお話を聞きたいというような意向があれば、この場で今年度の研修会の開催の有無を協議させていただく。そのような意向のある方は、発言をお願いしたい。

（「実施しなくてよい」との声多数）

それでは、今年度安塚区地域協議会としての研修会は実施しないこととする。

以上で安塚区地域協議会委員研修会についての協議を終了する。

次に次回の地域協議会の開催日を確認する。通常であれば、次回は11月28日(火)の開催となるが、皆さんのご都合はいかがか。11月28日(火)の開催でよろしいか。

(「はい」の声多数)

それでは、次回の地域協議会は、11月28日(火)午後6時30分から開催する。

ほかに連絡事項等あるか。

【萬羽主任】

「大・浦・安」地域協議会研修会について説明。

「大浦あげんき市」、「大浦安商工まつり」、「JA えちご上越わかば地域農業祭」の開催について説明。

上越市議会「ご意見を聴く会」の開催について説明。

住民自治を進める会「上越市の地域自治区制度と住民自治を考える集い」の開催について説明。

「新そば祭り(細野、伏野)」の開催について説明。

安塚区総合事務所玄関ポーチ天井防水塗装修繕工事について説明。

安塚コミュニティプラザ事務所棟暖房全面改修工事について説明。

【小林市民生活・福祉グループ長(併教育・文化グループ長)】

「安塚中学校閉校記念式典・思い出を語る会」の開催について説明。

「3区中学校統合実行委員会第8回全体会議・校名・校歌・校章部会」の開催について説明。

【松苗正二会長】

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL: 025-592-2003 (内線 23)

E-mail: yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。